

【婦人科検診を受けていない方へ】子宮頸がんウイルスチェックキット申込開始のお知らせ

HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因で発症する子宮頸がん。実は、20代から発症の可能性があるがんです。

初期では自覚症状がなく、定期的に検査を受けなければ発見が難しいといわれていますが、早期に発見して適切な治療を受ければ治りやすいがんといわれています。

当健保では、今年度婦人科検診を受けていない方を対象に、子宮頸がんウイルス（HPV）のセルフチェックキットを提供します。

ぜひこの機会にご活用いただき、がんの早期発見、またご自身の健康管理にお役立てください。

■子宮頸がんとは？

- ・先進国の中で唯一日本だけが、罹患・死亡者ともに増加傾向にあり、危機的状況と言われている
- ・特に若い世代（20～30歳代）での罹患率は、1980年から2005年までの25年間でおよそ3倍に増えている
- ・その理由は明確で、ワクチン接種率と検診受診率が低いことが原因といわれている

子宮頸がんやHPVに関する情報はこちら（外部サイト）

https://andscan.jp/cervical/info/88690870?utm_source=Intra&utm_medium=url

■男性社員の方は、ぜひ女性のご家族にもシェアしてください

〈子宮頸がん検診 自宅でできるHPV検査〉

うちの妻や娘は
大丈夫だろうか。



大事な家族ががんになったら困る…。「子宮頸がん」。名前は知っているけど、詳しい事はわからない…。そんなあなたにも、できる事があります。

情報をシェアする事で、大切な命が守れます。

右のQRコードをご自身のスマホで読み込んで
LINEやメールでご家族に共有してください



■セルフチェック申込条件

対象者：今年度、婦人科検診を受けていない本人（被保険者）および家族（被扶養者）

※ご注意※

令和4年度中に人間ドック及び生活習慣病健診で子宮がん検査に該当する検査（オプション）を受けた方、及び受ける予定の方は対象外となります

申込期間：2022年10月3日（月）～12月20日（火）

検査利用料：通常7,480円→0円（健康保険組合が全額費用負担）

■セルフチェックの特徴

- ・子宮頸がんの原因ウイルス（HPV）の感染有無をご自宅にしながら調べられます
- ・柔らかいブラシで粘液を採取するため、痛みや不快感が少ないです
- ・自分で検体を採取した場合でも、医師による検体採取と同等の病変発見率であると認められています
- ・セルフチェックで「陽性」となった際は、医療機関・検診機関の受診が必須とされています

検査キットはどんなもの？

- タンポンに似た要領で使える
- 痛みが少ない設計
- ストッパーがついて安心
- 最短3分で終わるほど簡単



■申込方法

QR または URL よりお申込みください。



https://andscan.jp/signup?cc=88690870&utm_source=Intra&utm_medium=first

※所要時間：約1分

■本検査に関するお問い合わせ（委託先）

ハッチヘルスケア株式会社 &Scan 事務局

support@andscan.jp

〒107-0062 東京都港区南青山3-1-31 KD 南青山ビル 8F

以上